

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

自然環境の保全とその地域資源を活用した教育活動支援計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県東蒲原郡阿賀町

### 3 地域再生計画の区域

新潟県東蒲原郡阿賀町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 【地域の現状・課題】

阿賀町の出生数の減少は続いており、合計特殊出生率は平成 29 年（2017 年）で 1.40 となっています。少子化の進行は、若い世代での未婚率の増加や就業状況の変化、結婚・出産・子育てに要する経済的負担、子育てと仕事の両立のしにくさなど様々な要因が複雑に絡み合っ引き起こされています。

また、町内で唯一の高等学校についても存続が危ぶまれ、平成 14 年（2002 年）に併設型中高一貫校とすることで生徒数の維持・確保を図ってきたものの、少子化の影響から平成 30 年度（2018 年度）には併設する中学校の生徒募集が停止となり、令和元年（2020 年）3 月をもって閉校することが決定しています。加えて、存続する高校についても 1・2 学年の生徒数が 40 名を切り 2 クラス制が困難になることから、魅力ある高校運営が一層困難になり、さらなる生徒数の減少ひいては同校の存続が危ぶまれています。

#### （地理的・自然的特性）

阿賀町は、新潟県の東部に位置し、県都新潟市から東へ磐越自動車道で約 35 分、一般国道 49 号では約 60 分で町の中心部に到達する距離にあり、町の東側は福島県の県境と接しています。

町の中央を阿賀野川とその支流の常浪川が流れ、その沿岸の段丘を中心に開

けた山間地域です。中心部は比較的平坦ですが、周辺は急峻な山岳地帯に囲まれており、北に大きく飯豊山塊が広がり、北西には越後山脈が南北に走っています。

## (人口)

阿賀町の人口は、昭和40年(1965年)の29,212人をピークに減少傾向にあります。

平成27年(2015年)の国勢調査では、11,680人となり、50年間で半数以下に減少しています。

また、年齢3区分の人口推移をみると、年少人口と生産年齢人口は昭和55年(1980年)以降、減少を続けています。老年人口は昭和60年(1985年)頃に年少人口を上回り、平成17年(2005年)にピークを迎え、現在まで緩やかな減少傾向にあります。また、老年人口は、令和2年(2020年)頃に生産年齢人口を上回ると推測されます。

総人口は、令和7年(2025年)に10,000人を割り、さらに減少を続けて令和16年(2035年)には7,000人を割って高齢化率は50%を超えると推測されます。

## (自然環境)

阿賀町の町花でもある雪椿の認知度は、地元の児童生徒を中心に広まりつつあります。あわせて、雪椿を挿し木による雪椿の増殖への取組も進められており、今後も町花として認知度を深める活動への広がりや町全体での保全・活用の機運醸成が見込まれます。

一方で、あらゆる年齢層の町民への理解の浸透までは至っておらず、また対外的なPRも十分であるとは言えません。雪椿を町の花、産業・観光資源として活用するためには植栽数や鑑賞区域の増加、認知度の向上が必要であると考えられます。

## 【目標】

このような状況に対応するため、雪椿に代表される阿賀町の豊富な森林資源や

水資源、観光資源等多様な地域資源を活用した事業を行います。具体的には、阿賀町の魅力が損なわれないよう自然環境の保全に努めつつ、地場産品の開発等を行うとともに、地元公立高校の存続に向けた活動等の教育活動支援も実施していきます。

将来的な生徒数の維持・確保を念頭に置きながら、上記のような取組みを通じて移住・定住に繋がる施策に注力し、町民の結婚、妊娠、出産、子育ての希望の実現を図り、自然増に繋げるとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかけていきます。

### 【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
自然環境の保全 とその地域資源 を活用した教育 活動支援事業	地域の里山保全活動	95ha/年	50ha/年	基本目標 2
	雪椿関連商品	3品	5品	基本目標 2
	町外からの阿賀黎明高等学校入学者数	3名	10名	基本目標 1

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

自然環境の保全とその地域資源を活用した教育活動支援事業

- ア 自然環境保全事業
- イ 地域資源活用事業
- ウ 教育活動支援事業

## ② 事業の内容

### ア 自然環境保全事業

阿賀町は、阿賀野川及びその支流とともに生きてきた町であることから、川の生態系の保全、川を活用した観光アピール、川の水によって活かされる農用地の保全や等を図る事業。

### イ 地域資源活用事業

雪椿、自然薯などを用いた新たな特産品を開発し、その特産品を用いたイベント等の開催や、既設のイベント等での活用により、集客増を図ると共に、町の森林資源を活かした木質バイオマスの利活用の推進を図る事業。

### ウ 教育活動支援事業

地元公立高校の存続に向けて、町外中学生へのPR活動を強化するほか、受け入れ態勢の整備、また、町の公営の塾とも連携を強化し、魅力ある教育活動を実践する事業。

※ 本事業は、第2次阿賀町総合計画後期基本計画の基本目標1「豊かな自然の中で育む結婚・出産・子育て環境を充実する」の「**学校教育の充実と愛郷心を育む環境づくり**」の「**学校教育の振興**」、及び基本目標2「自然環境の保全と資源の活用を促進する」の「**地域資源の活用**」の「**阿賀町の花「雪椿」を活かした地域づくり・ひとづくり**」と同じく基本目標2の「**森林資源の利用促進・未来に残せる森づくり**」に位置付けられる事業であり、当該基本目標1のKPIである「雪椿関連商品（令和6年度）」及び「町外からの阿賀黎明高等学校入学者数」、ひいては当該基本目標2のKPI「地域の里山保全活動（令和6年度）」の達成にまさに寄与するものである。

## ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

## ④ 寄附の金額の目安

18,000千円（2020年度～2024年度累計）

## ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に外部有識者による効果検証を行い、検証後速やかに阿賀町ホームページにて公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで